

平成28年度事業報告

1 事業の状況

(1) 公益目的事業 1

植村直己の業績についての展示公開に関する事業(定款第4条第1号関係事業)

【植村冒険館の管理運営】

① 植村冒険館の運営

所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5
建物 延床面積518.77㎡
展示室 76.60㎡、情報コーナー 42.70㎡
開館時間 午前10時～午後6時
開館日数 306日〔休館日：月曜（祝日のときは火曜）、年末年始〕
来館者数 17,004人（55.6人/日）
入館料 無料

② 情報コーナー資料収集整備

情報コーナー利用者数 9,956人（32.5人/日）
資料数（平成28年度末）
・書籍 8,616冊（前年度8,560冊）
・定期刊行物 7種
・山岳団体会報・報告書等 46団体 460部

③ その他の事業

ア 広告掲出（国際興業バス車内放送）
イ 地域まつり会場でのPR活動（区民まつりに豊岡市冒険館と共同出展）
ウ 加盟関連団体
日本山岳会、東京都博物館協議会
エ 植村冒険館友の会
会員数 平成28年度末 293人（前年294人）
オ その他の取材等協力
撮影協力：神戸新聞で植村直己を紹介する記事での対応
校正など：山岳雑誌『岳人』で植村直己を特集する記事で、内容の事実確認などを行った

カ 遺品の貸出

ニコンミュージアムで開催する「植村直己 極地の撮影術」（1月5日～4月1日）に関係資料を貸し出した

【資料収集・保存及び調査・研究】

① 遺品等の収集及び保存

収集資料累計 1, 849点（設立時 1, 604点）
28年度収集資料：0件

② 遺品に関する調査

所蔵遺品の点検、
1984年マッキンリーの装備をトランクルームへの収蔵

③ 業績・関係者に関する調査

雑誌、放送番組、来館者ら、外部からの問い合わせに対する調査と情報提供

【展示事業】

植村冒険館：通年開催（272日）
入室者数 7, 048人（25.9人/日）

ア. 植村冒険館企画展

	タイトル	期間	入室者数
	内容		
継続 開催	セルフタイマーギャラリー ～植村直己が撮影した単独冒険の記録写真～	*3月10日から 継続開催	230人 20.9人/日
	単独行だからこそ、冒険の証として自分自身を「記録」した。セルフタイマーで撮影された写真を紹介した。	4月 1日～ 4月13日 (11日間)	
1	エベレストを越えて ～植村直己、日本人初登頂の記録～	4月22日～ 7月 6日 (65日間)	1,536人 23.6人/日
	1970年に植村直己が日本人として初めて登頂したエベレストの足跡を紹介した。		
2	ザ・世界放浪 ～植村直己、片道切符を手に日本を飛び出す!!～	7月15日～ 8月31日 (41日間)	1,515人 37.0人/日
	大学卒業とともにアメリカへ渡り、約4年半にわたって世界を放浪した足跡を紹介した。		
3	特別展 北極圏1万2千キロと妻への手紙	9月9日～ 11月8日	1,378人 26.5人/日

	達成40周年を記念して、1年半にわたって単独犬ぞりで北極圏を半周した1万2千キロの冒険を紹介するとともに、妻に書き綴った手紙の実物を初公開した。国立民族学博物館から関係資料と装備関係を、植村公子氏から手紙を借用した	(52日間)	
4	セルフタイマーギャラリー ～植村直己が撮影した単独冒険の記録写真～ 植村直己が撮影したセルフタイマー写真に限定して展示した。文藝春秋の協力により、これまで写真集などに掲載されていない写真も大幅に追加した。	11月18日 ～1月24日 (53日間)	999人 18.9人/日
5	メモリアル展 山頂に残された旗 マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。	2月1日～ 3月31日 (50日間) *4月11日まで 継続開催	1,390人 27.8人/日

イ. その他の展示

板橋区立少年自然の家八ヶ岳荘「写真展」(通年)

板橋区立榛名林間学園「写真展」(通年)

板橋区小茂根図書館

「冒険家・植村直己の足跡」

期間：11月15日～11月24日(10日間)

関連施設での出張展示/明治大学博物館

期間：3月26日～4月24日(30日間)

学校展示/高島第一中学校

期間：1月21日(学校見学会) 生徒数：390人

小学生向け自由研究「地球たんけんパスポート」配布

期間：7月21日～8月31日(38日間) 275人

「さらなる冒険」スタンプカード配布

「地球たんけんパスポート」の時に登録してスタンプカード発行。これを持参し3回来館した小学生に景品を贈呈

期間：9月9日～12月28日(メ切：10月、11月、12月)

登録者数：219人/景品引き替え：43人

「クール!ザ・冒険館」南極「ミニ」体験

南極の氷と網走の流氷に触る、ミニ・ブリザードの中で風速を測る、観測隊員の防寒服を着て記念撮影など、展示室内で南極「ミニ」体験を実施(来館者全員対象)

期間：8月3日～4日(2日間) 323人(展示室入場者)

「ライトアップ・イグルー 428」

かつて北極で暮らす人々が使っていた氷の家「イグルー」の模型(工学院大

学建築学科から寄贈)を植村冒険館の玄関・ピロティで展示した。一年で最も日没が早い期間にあわせて展示し、日没後にライトアップを行った
 期間：11月29日～12月4日 午後4時28分～5時45分(4日間)

【公益目的事業1の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		32,183,000	27,244,984
内 訳	(1)冒険館の管理運営	22,718,000	20,530,200
	(2)資料収集・保存及び調査・研究	1,157,000	834,576
	(3)展示公開	8,308,000	5,880,208

(2) 公益目的事業2

自然への関心を高めるための実体験事業(定款第4条第2号関係事業)

① 自然塾の実施

小・中・高校生を対象に、自然の中での活動を通じて、「ウエムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力、人間らしい生き方を学んだ。

実施回数13回 参加者335人

回数	プログラム名	実施月日及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
1	マウンテンバイクツーリング～南房総一周にチャレンジ～(中高生)	5月3日～5日 【2泊3日】	中高生 12人
	南房総周辺 千葉県保田海岸から南房総を反時計回りに一周する120kmのマウンテンバイクツーリングに挑戦した。		
2	河原でサバイバルキャンプ(小学4年生～高校生)	6月11日～12日 【1泊2日】	小学生 30人 中高生 5人 計35人
	氷川キャンプ場とその周辺 食事計画を自分たちで考え、テント泊・自炊に挑戦した。 舞切り式で火をおこし、たき火をしながら、食事作りに挑戦した。		
3	夏のアドベンチャーキャンプ～北八ヶ岳冒険トレックにチャレンジ～(小学4年生～高校生)	7月26日～28日 【2泊3日】	小学生 14人 中高生 6人 計20人
	北八ヶ岳 小学生は、山小屋泊をしながらニューを、中高生はテント泊をしながら天狗岳の登頂に挑戦した。		

4	伊豆大島まるごとキャンプ～海と大地の自然を体験しよう～ 伊豆大島 テント泊・自炊をしながら、海でのシュノーケリングに挑戦した。	8月18日～20日 【2泊3日】	小学生 21人 中高生 16人 計37人
5	プールでカヌー体験（小学1～6年生） 板橋区立板橋第十小学校 小学校のプールでカヌーに挑戦した。	9月10日 【1日】	小学生 28人
ステップアップアドベンチャー（小学4～6年生）全4回の継続プログラム			
6	第1回 セルフレスキューにチャレンジ 都立光が丘公園 セルフレスキューについて学び、チームごとに課題解決ゲームに挑戦した。	9月19日 【1日】	小学生 20人
7	第2回 レベルアップチャレンジ 川崎市黒川青少年野外活動センター ダッチオープン調理や4mの壁越えに挑戦した。	10月29日～30日 【1泊2日】	小学生 19人
8	第3回 ロープワークで基地づくりチャレンジ 都立光が丘公園 ロープワークを学び、限られた道具と自然物を使って、基地づくりに挑戦した。	11月27日 【1日】	小学生 19人
9	第4回 サバイバルチャレンジ 大房岬自然公園キャンプ場 限られたロープとブルーシートを使い、一泊に挑戦した。	12月26日～27日 【1泊2日】	小学生 19人
10	スキーに挑戦！！～雪の上を爽快地に滑ろう～ （小学4年生～高校生） 国際自然大学校日野春校及びサンメドウズ清里スキー場 自炊を伴う共同生活をしながら、ゲレンデスキーに挑戦した。	1月13日～15日 【2泊3日】	小学生 36人 中高生 6人 計42人
11	富士山のふもとでスノーシューハイクに挑戦 （小学4年生～高校生） 国立中央青少年交流の家及び富士山双子山山麓 スノーシューを履いて、富士山双子山の山麓を散策した。雪の世界ならではの活動に挑戦した。	1月27日～29日 【2泊3日】	小学生 10人 中高生 0人 計10人
12	自分の限界に挑戦！ オーバーナイトウォーキング （小学4年生～高校生）	2月25日～26日 【0泊2日】	小学生 27人

	小学生：新河岸駅から植村冒険館までの30km 中学生：森林公園駅から植村冒険館までの50km 毎年恒例の徹夜歩行。寒さと眠気に耐え、参加者全員が完歩した。		中高生 17人 計44人
13	霞ヶ浦キャラバンキャンプ(小学4年生～高校生) 千葉県銚子市～茨城県神栖市～千葉県香取市 限られた予算と情報を使い、自分たちで3日間の計画立て、目的地を目指す旅に挑戦した。	3月27日～29日 【2泊3日】	小学生 24人 中学生 6人 計30人

② アドベンチャー講座の実施

「ウエムラ・スピリット」に基づく、一般成人を対象とした自然体験講座の実施により、自然との触れ合い及び人と自然との関わりを体得する機会を提供し、登山などを安全に楽しむための正しい知識の普及と、自然を慈しむ精神を養うと共に、植村直己の冒険心についての理解を深めるための事業。

実施回数5回 参加者 159人

	実施月日	実施場所	種別	参加	リーダー・講師
1	6月18日～19日	鼻曲山・草津白根山	登山	39	節田重節・山口章
2	7月29日～8月1日	三方岩岳・白山	登山	33	節田重節・原邦三
3	9月3日～5日	尾瀬沼・至仏山	登山	35	大谷映芳
4	10月21日～23日	男体山	登山	29	原邦三
5	3月4日～5日	白馬乗鞍岳	雪山登山	23	山本篤ほか

【公益目的事業2の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
自然の中での実体験事業		22,185,000	18,074,284
内	(1) 青少年対象「自然塾」	14,415,000	11,623,467
訳	(2) 一般対象「アドベンチャー講座」	7,770,000	6,450,817

*参加者負担金収入額 = 11,648,700円
 自然塾 : 5,093,000円
 アドベンチャー講座 : 6,555,700円

(3) 収益事業等 (その他の事業1)

その他、目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第3号関係事業)

【関連物品販売事業】

植村直己著書及び関連図書・DVD・野外活動用品等を来館の記念として販売。

・グッズ等販売収入	1, 168点 (32種)	706, 464円
(内訳)	図書:	167点 191, 380円
	DVD:	50点 150, 330円
	物品:	951点 364, 754円

【収益事業等の決算状況】

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額
関連物品販売事業	1,973,000	1,681,375